

2023年7月17日

株式会社オギノ

オギノ、テクノミライの省エネシステムを導入

デジタル技術を使い、空調・冷蔵・冷凍設備を一体的に自動制御し、
CO₂ 約 1,640トンの削減を目標

株式会社オギノ(本社:山梨県甲府市、代表取締役社長:荻野 寛二、以下「オギノ」)は、株式会社テクノミライ(本社:東京都新宿区、代表取締役:三輪 和夫、以下「テクノミライ」)が提供するエネルギーマネジメントシステム「BAMDS/COA」を導入します。デジタル技術を積極的に活用し、店舗の空調設備、売場冷蔵・冷凍設備の出力調整を一体管理することで、BAMDS 導入済み店舗全体の電力使用量を前年比平均約 13%削減、CO₂排出量を年間約 1,640トン削減する計画です。

オギノは、山梨県、長野県、静岡県に食品、住居関連品、衣料品を販売するスーパーマーケット、衣料専門店を合わせて全 47 店舗展開しています。生鮮食品や冷蔵・冷凍商品を安心安全に販売する為には、店舗内の温度を管理することが欠かせません。従来、空調設備と売場冷蔵・冷凍設備は別々に運用されており、一体管理がされておりました。両方の既存設備を一体的にシステムで自動制御し温度管理することで、店舗全体の電力使用量を削減することが可能になります。

本システムは、2022年9月より、富士川店、山梨店の2店舗で実験的に導入されており、電気使用量の削減率は前年対比約 13%と省エネ効果が確認できております。本年度中に 20 店舗に導入を計画しており、順次導入店舗を拡大することで CO₂の排出量の削減目標 1,640トンを低減します。

テクノミライは、多くの特許技術による実現された BAMDS 4D/COA システムによって、2002年から 21年間で、22社 220箇所以上の店舗・設備などの電力、ガス削減をしてきました。昨今のエネルギー料金の上昇は、企業の販管費を上昇させ、多くのビジネス活動において、早急な対策が必要とされています。エネルギー料金の上昇対策と人的資源の省力化、CO₂削減などの経営課題の解決策として、BAMDS 4D/COA システムを積極的に展開中です。

オギノは、SDGs を基本とした、環境 CSR 活動を強化しています。テクノミライの省エネシステムの導入は、その一環として効果的であり、SDGs が掲げる 17 の目標のうち、「7: エネルギーをみんなに そしてクリーンに」、「9: 産業と技術革新の基盤をつくろう」、「13: 気候変動に具体的な対策を」の目標に対しての取り組みと自動管理システムの導入で、持続可能な地球環境に貢献します。

「食・住・衣を通じて、変化するお客様の日常生活を絶え間なく支え、創造し、豊かにする」を企業使命とし、地域社会への貢献と地域のサステナビリティについて積極的に関わっています。今後も地球環境や地域の健康、地域の課題解決および事業の両立を目指しながら、持続的な成長に取り組んで参ります。

【BAMDS 4D/COA システムについて】

BAMDS 4D/COA システム機能・特徴は以下の通りです。

1. BAMDS は、空調関連機器を自動制御することで、冷房時の過冷房、暖房時の過暖房を防ぎ、空調関連機器の省エネを実現します。一方、ショーケース、冷凍・冷蔵庫の設定温度と検知温度を入力、特許プログラムシステムにより自動制御することで、大幅な省エネを実現します。また、防露ヒーター時間を適切に制御することで、電力使用量を削減します。同時に、吸気、廃棄の換気設備や空調設備の制御により、売場の空気湿り熱量もコントロール、結露防止だけでなく、ショーケース、冷凍機への負荷を軽減させます。

2. BAMDS は商品第一主義です。もし、急激な環境変化などにより、商品への影響が懸念されるほど庫内温度が上昇した場合には、省エネ対象機器の制御を自動調整し、ショーケース、冷凍・冷蔵庫の温度を最適に保ちます。

3. BAMDS が制御用に利用するショーケースの温度データを使って、全ケースの温度管理表をBAMDS が自動生成。本部にてこの温度データを一元管理することにより、現場温度記録業務が不要となり、結果、現場作業の省力化も可能になります。

以上、BAMDS は空調、ショーケースの関連機器において、大幅な省エネ、省エネにつながるCO₂削減、温度管理業務の省力化を同時に実現します。

以上